アレン達の雑談。

奈倉

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト
http://pdfnovels.net/

注意事項

このＰＤＦファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にＰＤＦ化させたものです。
この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのＰＤＦファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
アレン達の雑談。

【Ｎコード】
Ｎ３０８４Ｐ

【作者名】
奈倉

【あらすじ】
『爆炎爆雷のアレン！！』と『ピカチュウと極彩色』のキャラが暴れてる所です
ギャグだのバトルだのいろいろやってます
ですが作者がもともとギャグセンス無いので期待はしないでください
▽最近は語りメインでｓ（（殴

始めに（前書き）

注意！
ネタバレです！（多分）
アレン読んでから来て下さい！

アレン：さりげなく宣伝するんじゃねえ！！

始めに

アレン：何だここ？

説明します！

（あらすじでも書きましたが）ここでは爆炎のキャラがギャグだの、バトルだの、色々します♪

今回は第一回という事で、第１０班メンバーのプロフィールを紹介します☆

アレン：まずは私からっ☆

アレン　リオル（♀）　１２才　o型
身長　リンゴ7個分　　体重　リンゴ１１個分
誕生日　７月２３日　し座
性格　男勝り　意外と冷静
ランク　７級
好きな食べ物　　チョコレート　秋刀魚の塩焼き　ハンバーグ
嫌いな食べ物　　油っこい物
趣味　　花の水遣り
夢　　シャドーの頂点に君臨する事　世界のいじめっ子を一人残らず叩き潰す事
戦ってみたい相手　カガリ　ライオ　ブル子　リンカ

ポエル：何、リンゴ○個分って?!!

アレン：気にしなーい♪

カガリ：恐ろしいな・・・（汗
ん、次はオレ♪

カガリ　ダークライ（♂）　２４歳　o型
身長　１．５ｍ　体重　５０．５ｋｇ
誕生日　９月１５日　おとめ座
性格　気楽　冷静　たまに女口調
ランク　１級（１３歳で就任）
好きな食べ物　ナスの味噌汁　ラーメン
嫌いな食べ物　甘い物
趣味　考古学の本を読む事
夢　（この歳で夢ってちょっと・・・）
戦ってみたい相手　アレン　シオラ

アレン：え～っ！！！　カガリ先生って、１３歳でランク一級に？
！！

カガリ：ま、そういうことになるね。

次は・・・

ポエル：ボク～♪

ポエル　ブースター（♂）　１２才　ＡＢ型
身長　０．９ｍ　体重　２５．０ｋｇ
誕生日　１０月３日　てんびん座
性格　気楽　マイペース
ランク　７級
好きな食べ物　パスタ　ドリア
嫌いな食べ物　酢昆布
趣味　昼寝
夢　世界旅行
戦ってみたい相手　強い人となら誰でも

カガリ：ポエルって意外とイタリアンなのね・・・
だね～。さて、最後は？

ライオ：俺だ。

ライオ　ブイゼル（♂）　１２才　Ｂ型
身長０．９ｍ　体重　２９．５ｋｇ
誕生日　１２月１４日　射手座
性格　クール　好戦家　ツンツン（？）
好きな食べ物　おにぎり（ツナマヨ）
嫌いな食べ物　混ぜご飯
趣味　技の特訓
夢　最強のポケモンになる事
戦ってみたい相手　シオラ　ライ　カガリ　その他実力者

アレン：つ、ツナマヨ？！！

カガリ：意外と和風だな

ポエル：うん、何だか皆の事が分かってきたよ♪

最後に

ネタバレになった事をお許しください。
あと、バトルキャラを募集してます♪
要するにコラボなんですが（汗
感想ページから送ってください♪

これからも新キャラのプロフィールなどを書いていきますので！

アレン：これからも応援よろしくっっ☆

始めに（後書き）

アレン：次回は？

ギャグ系かも。

1　キース（前書き）

ギャグの予定でしたが、キースの外伝です（汗

アレン：おい（汗

いいじゃん、大体、‘かも’だったし‘かも’！！

キース：番外編スタートだ。

台詞とられたっっ！！

1　キース

元々彼らは、同じ班で活動していた。

暗殺部隊、と言う名の・・・

「キース。」

指名手配所（ビンゴブック）を眺めながら、シオラは口を開く。

「お前が隊長だが・・・、分かっているな？　第1班、と言う事は・・・」

「分かっている。」

私は力強い口調で返した。シオラを、これでもかという位に睨んで。

第1班が暗殺専門部隊ということは、既に承知だ。決意を顔に出したつもりだが、届いているのだろうか。この目の前にいる、お偉いさんには！

「そうか・・・。」

シオラはしばらく私と目を合わせ、再び手元のリストに目を落とした。

「それでは、頼むぞ。」

私は頷いて見せると、班員と顔を合わせる。

「行くぞ！」

次の瞬間、部屋にはシオラだけが残っていた。

「ではまず、自己紹介だ。」

我ら第１班は、とある店で休息を取っていた。任務開始まで時間もあるし、何せ初対面なので、隊長の私から提案させてもらった。畳の敷かれた和室に入り、一同が正座している。

「私からいこう。」

首に暗殺の証である黒色のスカーフを巻き、改めて机に向かった。

「私はキース。１５歳だ。もともと殺しは嫌いなんだが・・・主にこいつを使って殺る。」

カバンからシャット０２を取り出し、右手に握る。相棒が鈍く光ると、声が上がった。

「おお、流石はリーダーだな！　ああ、俺はライ。このレイとは、長い付き合いだ。」

ライというリザードンは、隣で大人しく座っているアブソルの背中を思いっきり叩いた。レイという彼は、迷惑そうに背中を摩る。喧嘩するほど仲がいい、と言う奴か。

「私はグリソン。剣士でもあり、音楽家でもございます。こちらのキースとは、長い付き合いになりますな。ムホホホホ！」

グリソンは相変わらずの笑いだ。いい加減やめてほしい。

だが、何だ、全員知り合いがいた訳だ。どいつも実力者の様だし、今回の任務は思ったより早いかもしれない。

そうして我々は店を出た。

目的地へと走って向かいながら、標的（ターゲット）の特徴を説明する。

「種族はブーバーン。片腕に傷有り。異常なほどの波導量、かつ凶暴で、ポケモン達を見境無く殺していく姿から、別名‘地獄の火鬼’。」
「なるほど。」
「キース、そいつの名前は何だ？」
「地獄の火鬼、ギオン。」
レイが顔を顰めて、その名を何度か呟く。
「私にとっては少し不利な状況だが、必ず成功させるぞ、分かったか？」
「おう！」

午前　１２：００　サンヨウシティ所属　シャドー暗殺実行第１班

任務開始

1　キース（後書き）

ギオン：正に俺のターン！！

キース：殺されても知らんぞ。

２人の勝負になりそう（汗

3　ギオン（前書き）

今回は二人の激突です？

ギオン：何故疑問形なんだあああああ？！

あと、今回だけ残酷描写でます（汗

ギオン：設定変更すりゃあいいじゃねーか？

今回だけだから（汗
おｋな人のみどうぞ↓

3　ギオン

何故だ？

彼は大地に踏み立って自分に尋ねた。

何故、俺はこんな事をしている？

彼の足元には、無数に転がるポケモンの死体。

俺は、何故、こいつ等を殺したんだ？

・・・そうだ、全てはアイツの為。アイツの仇を、討つため。

だが、どうして、アイツの好きだった赤色を、‘血’として見なければならない？

‘ありがとう。ギオン。’

アイツの声が聞こえる・・・

‘次はほら、後ろの・・・僕を、殺した人・・・’

ギオンは振り返った。赤く染まった大地の上に、４匹のポケモンが立っている。

「観念しろ！　ギオン！！」

「アイツか・・・。」

‘殺して・・・奴を・・・’

「分かってる。」

ギオンは走り出した。

正に、‘鬼’だ。

その時キースは思った。

地面に横たわるポケモンたちは、少なくとも２０を超える数。

それをたった一匹で殺ったというのか・・・。

「キース、ここはまず俺に行かせてくれ。」

レイが一歩前に出る。

正面を見ると、鬼が猛スピードで此方に向かってきている。

奴と目が合った。

「お前が今出たら、危ねぇ。」

レイは身構える。

何時でも走れるようだ。

「任せる。」

キースは静かに指示した。レイは風のように駆けて行く。
ギオンが表情を変えた。

「てめぇに用は無ぇ！！！」

ギオンは左腕を突き出した。
爪が中に入り、空洞になった腕の先に、高温の炎が集められる。
それは短時間のうちに膨張し、ギオンの体と等しい大きさとなった。

「何だと?！」

「‘マントル砲’！！！」

腕からエネルギー体が発射される。
猛烈なスピードでレイに接近し、爆発した。

「なっ・・・レイ?！」

ライが目を見開く。
その瞬間、爆発音と共に火の粉が辺りに散った。
火の粉はキースたちに降りかかり消えていく。
煙が晴れてくると、一匹のポケモンが倒れているのが見えた。レイだった。

「レイ！！！」

ライが叫んだ。レイは腹部に火傷を負って倒れていた。
幸いにも気絶はしていないようだ。

レイは突然顔を顰めると、うぅ・・・と唸った。

「今のは、かなりの大技のようですね・・・。」

「大丈夫か?!　レイ!!　畜生・・・てめぇ、よくもライを・・・!!」

ライは拳を強く握って今にもギオンに飛び掛ろうとしている。
しかしギオンの方もいつでも攻撃できる状態だ。
このまま飛び掛ればライまで返り討ちにされてしまうかもしれない。

「止めろ!　止まるんだ、ライ!!」

キースがライを呼び止めた。
ライは怒りに満ちた形相でキースを睨む。

「レイを見捨てるって言うのか?!」

キースは俯いた。
顔を上げてみると、遠くに苦しんでいるレイが見える。

「私は・・・これ以上、怪我人を出したくない。」

ライは驚いた。
彼女の目から、雫が落ちてきたからである。
キースは目を擦ると、視線をギオンに向けた。

「奴の目的は私だ。此処は、私が行く。」

「あっ・・・ちょっ・・・!!」

ライは咄嗟に声を上げたが、キースは既に走り出していた。
相棒を左手に構える。その先が、太陽の光で怪しげに光った。

（キース・・・殺す気ですね・・・。）

「貴様の相手は私だろう？　他の者に手を出さないで欲しいな。」

ギオンは顔を上げ、視線をレイからキースに移す。

‘ギオン。’

背後で声がした。
だが相手が銃を構えている為、迂闊に動く事は出来なかった。
こんな物で俺は死なない。
ギオンは、こいつを殺す前に、アイツの事を話したいと思った。

「一年前だ・・・お前、この場所で、ハッサムを殺したんだよ・・・
俺の親友だった奴だ・・・。」

キースは銃を少しも動かさず、眉を寄せた。

「さあ？　知らないね。今まで何人殺して来たかも覚えてないんだ
からな。」

キースはため息をついた。
ギオンは腕を構える。その腕から、一直線に炎が噴出された。

「！」

キースは一瞬怯んだが、炎を右に反れてかわした。
‘命の大切さってもんが分かってないんだよ・・・。’
「俺はそいつの仇・・・お前を殺す!!」
ギオンが飛び掛ってくる。キースは、その背後に何者かの気配を感じた。
（幽・・・霊・・・？）
「よそ見してる場合かよ?!」
突然目の前に拳が降ってきた。
キースは慌てて跳躍し、かわす。
ギオンのパンチはそのまま地面に当たる。
地面に亀裂が入り、岩が砕け散った。
（何というパワー！）
「まだまだァ!!」
ギオンは地面に埋まった腕を抜いて再び構える。
（食らったらお終いかもな・・・。）
キースは再びパンチをかわした。
その拳が空しく空気を裂く。隙を見てキースは、拳銃に弾（タネ）を込めた。

「‘ヤドリギの種’！」

「何?!」

ギオンの額に向けられた拳銃から、小さなタネが発射され、ギオンに命中した。

額に当たったタネはそのままくっつく。

すると、ギオンの目が急に焦点を失い、体は力なくその場に倒れた。

キースがタネの埋まった額に、また相棒を突き立てる。

「動くなよ。・・・私の‘ヤドリギの種’は、少し特殊でね。脳に直接根を張るんだ。直に意識もなくなる。」

「嘘・・・だろ・・・。」

ギオンは虚ろな目でどこかを見ている。

「さっさと成仏しな。」

キースは目をギオンに向けたまま彼の背後にいた‘親友’に話しかけた。

‘僕に・・・気づいていたのか・・・。’

「ああ。こいつを利用して仇をうとうなどと、舞い上がった考えはやめろ。私は、もう自分の罪を償えない。」

‘フッ・・・’

親友は微笑むと突然消えていった。

もう気配も、何も感じない。

（逝ったか・・・。）

「流石ですね、キース様。」

「それより。レイを連れて帰るぞ。」

「ああ！」

こうしてキースたちは任務を無事に成功させた、筈だった。

しかし、この後の事だった・・・ギオンとハイドが手を組んだのは・・・

ｅｎｄ．．

3　ギオン（後書き）

またまた謎を残して終わったな・・・

キース：全く、幽霊に操られていたとは、情けない

ギオン：何だと（怒

次回は雑談しようと思います～

４　CVについて語りまくれ！！（前書き）

友達に、夢見るだけならタダです、と言われたのでやってみます♪

アレン：面白そう♪

４　ＣＶについて語りまくれ！！

今回は完全なる雑談！！！！！！

まず第一弾！　ＣＶについてだあああああ！！

アレン：おお～っ♪

クロガネ：作者テンション高ぇ（汗

ずっとこの雑談したかったからね♪

そんじゃ逝ってみよー★↓

クロガネ：作者漢字ぃぃぃぃ！！

まずアレン達行きます♪

えっとね、まずアレンは空気読んで竹内順子さん♪

（ＮＡＲＵＴＯ　うずまきナルト役、イナズマイレブン　円堂守役、家庭教師ヒットマン　ＲＥＢＯＲＮ！　ランボ役　ｅｔｃ．．）

アレン：空気読んでって（汗

ホントは平野さんにもやってもらいたかったんだけど、そしたら友達に

「あんな可愛い声に＜ぐあああああ！！＞とか言わせたいんか？！！」

と言われたので（汗

クロガネ：確かに言えてるな

竹内さんはマジ神だよ、死ぬ前に一度は会いたいｗｗ

クロガネ：できるもんならやってみろ（汗

そんじゃ次、・・・・・・・

アレン：どうしたの？

カガリ先生だあああああぁぁあああ？！！！

カガリ：騒がしいな、一体何の騒ぎだ？

アレン：いやあ、作者のテンションＭＡＸ（汗

カガリ先生の声は井上和彦さんだよ、絶対！！　そうじゃなきゃやだから！！

（家庭教師ヒットマンＲＥＢＯＲＮ！　＜未来編前編＞　ガンマ役、ＮＡＲＵＴＯ　はたけカカシ役、ポケットモンスター、ウツギ博士役ｅｔｃ．．）

はあ、カカシ先生マジかっけーよなぁ・・・

カガリ：結構渋い声だな

うん、私の一番好きな声優さんっっ！！　ってか先生の声の人はみんな愛してるよｗｗ

アレン：作者（汗

次！！

ライオ！！

ライオ：俺か・・・

彼の声は・・・のんたん（杉山紀彰さん）にお願いしますっっ！（ＮＡＲＵＴＯ　うちはサスケ、ＢＬＥＡＣＴ　石田雨竜　ｅｔｃ．．）

アレン：性格ともばっちりあってるよね～

ライオ：フン。興味はない。

イタチのくせにサスケ・・・プっ。↑分かる人にはわかる。

それじゃあ次！！

ポエル：ボク！

浪川大輔さんにお願いします♪
（ツバサクロニクル　ファイ・Ｄ・フローライト、鋼の錬金術師ＦＵＬＬＭＥＴＡＬ　ＡＬＣＨＥＭＩＳＴ　ヴァン・ホーエンハイム（青年期）、劇場版ポケットモンスター　波導の勇者ルカリオルカリオｅｔｃ．．）

ポエル：何かあってる気がするよｗｗ

お気楽な感じだからね♪

あともう一人

クレディア！

クレディア：ええ？！　僕？！

宮野さん！
（イナズマイレブン　吹雪士郎役、ポケットモンスターベストウイッシュ！　デント役ｅｔｃ．．）

私が３番目に好きな声優さんだよ

クレディア：紳士的なかんじだね（汗

こんなもんかな★

クロガネ：ちょっと待てええ！！　オレは？！

クロガネはまだ考え中♪
中々ぴったりな人がいないｗｗ

クロガネ：そうか・・・

アレン：まあドンマイ♪　でも楽しかったね♪

またキャラ増えたらするかもね♪

それではこれにて雑談終了★

5　今年の映画について語ってみた（前書き）

この小説を読む前に必ずお読みください

アレン：Σどうした作者?!

▲ネタバレ注意!

▲作者自重しない注意!

▲「御前如きが語れる立場じゃねぇだろ?」百も承知です

▲長い。ウザい。

▲あくまで個人の意見ということをお忘れなく

→ｏｋの方のみご観覧を!

クロガネ：始まるぞー?

5　今年の映画について語ってみた

感動した！！！！！

声優の演技力に（、・ω・′）

アレン：そっちか！？

うん！

いや～、両方観たけど面白かったわ～ｗ

カガリ：それじゃあ考察と行こうか？

行きましょーｗｗ

▼ストーリー面について

一言で言うと、「水の都」のＢＷ版みたいでしたね
ビクティニ透明ネタ、犠牲ネタ、道案内ネタ（？）が特に。
あと、途中サトシが落ちてしまう池とか、そこにある風見鶏がラティアス達の庭園と少し似ていた気がします
あと絵本で過去が物語られる、というところとか、おじいさんが出てくるところとかｗ

キャラも、カリータ↓カノン　モーモント↓ボンゴレ　っぽいところがあったような…なかったような…

ゼクロム様はごつくて（雷吉：ごついだと？）カッコ良かったし、レシラム様はお美しかったです／／

アレン：作者気持ち悪いぞ。自重しろ

おっと、すいませんｗ
２匹の共闘シーンは良かったです！迫力もあったし、助け合うところもあって、絆的な物を感じました～
デュアルクロスのシーンが大迫力でしたね！あれは良かったです本当に！

あと、ゴチルゼル（ランクルス）とピカチュウのバトルシーンも良かったです！
個人的にはランクルスの方がバトル的に面白かったかな
でも疑問なのが、ゴチルゼルの時は指名技が「ねんりき」なのに、ランクルスの時は「サイコキネシス」なんですよねー、この辺謎。

あと、ちょっと解り難かったのが、ビクティニの「Vジェネレート」のシーン。
突破したところまでは解るんですが、その後ビクティニが何故居なくなったのか、まったく解らない；

自分では、サトシを命懸けで救って、技の消費エネルギーの代償か何かで消えて（亡くなって）しまった…か、
自由になって宇宙へ飛び立ったか…のどちらかで推理してます

でも、前者だとそのあとビクティニが何で生きているのか理由が解らないし、（龍脈の影響とは考えにくい）後者だと、技を使う前にビクティニが見せた「涙」、「笑顔」や、「決心」の意思（？）の意味がよく解らない。

サトシが海に向かってビクティニに海を見せられなかったことを公開しているシーンで、なんでサトシはビクティニが居ない前提にしているのかも気になります

カガリ：多分時間の都合でカットされたんじゃないか？　前半でビクティニとの交流とか歴史とかがしっかり描かれていたからな

そういえば今回は悪役が居ませんでしたよね、しいて言うならロケット団ぐらいw
結局ドレッドは、自分の真実や理想を貫いていた訳ですし、悪役ではなかったと思います
そういうところからか、ストーリーがどのように進んでいくのか読めなかったですね
デュアルだからなのかもしれません
やっぱり伝説が付くんだから両方善者じゃないとねw

▼技術面

技術、良すぎました！全体的に！

演出とかはもう言う事なし！って感じでしたね、御見それしました！
ＣＧも使いすぎない、というか、使い方が良かったのでＣＧ嫌いでも特に気にはなりませんでした
アニメではピカチュウとか１０万ボルトが酷かった…ＣＧだったのはかなりショックでしたし；

声優は予想以上でした！！！！
水樹奈々さん演じるビクティニはかなり可愛くってメロメロ状態でしたｗ（（
あと、ゼクロムとレシラムもイメージにぴったりだったと思います！
山ちゃんのモーモントは「ウザ可愛かった」しｗ（どういう意味

でも一番良かったのはしょこたん！！
少年の声に吃驚しました！！
一瞬「え？これマジしょこたん？？」って思いました！
それぐらい凄かった。特にそのあと少女の声を聞くとさらにギャップに驚かされました

演出面で自分が最も良いと思ったのはＢＧＭでした！

後に見て印象に残っているからかもしれませんが、黒の方のＢＧＭがかなり良かったです

レシラムを先に見たので、「黒は飽きて寝ちゃうかなー」と思っていた自分が甘かったｏｒｚ
初めて、映画見た後にサウンドトラックが欲しいと思いました
全然雰囲気が違う。
かなりすごかったです！

▼Ｐ．Ｓ．

個人的に一番頑張っていたキャラはゴルーグだと思います！
ゴルーグが伝説に立ち向かっていた姿はカッコ良かったですね！
お疲れ様！！

カガリ：予想以上に語ったな；いいのか？

自重捨てたからいいんです

アレン：いやダメだろ；

更に追記
映画鑑賞において起こったこと

それは、ゼクロムを見ていた時の出来事でした

★その壱！　滑舌悪少年がいた

「あ、あれシジジカだよシジジカ！」

え？いや、確かにシジシジ言ってますけども；

「ディアル♪ディディィアル♪ディディィアルゥ～♪」
（ギアル、ギギアル、ギギギアル）

（´・ω・`）

★その弐！ネタバレ少年がいた！（（オマエモナー

「それでね、この緑が紫になるの！」

いいから黙ろうか
俺も知ってるから

★その参！ティニ少年（少女かもしれない）がいた！

「ティニー！ティニティニー！！」↑映画上映中

五月蠅い。でもなんでそんな似てるんだ??

かなり似てましたw

つーかお前らは映画ぐらい黙って見られないのかァァアアッッ！！??

以上！

5　今年の映画について語ってみた（後書き）

という訳で吹っ切れた作者でしたｗ

アレン：乙だな

意見とかあったら感想に書いてくだされば喜びます

それでは

ＰＤＦ小説ネット発足にあたって

　ＰＤＦ小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は２００７年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にＰＤＦ形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのＰＤＦ小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能（たんのう）してください。

この小説の詳細については以下のＵＲＬをご覧ください。
http://ncode.syosetu.com/n3084p/

アレン達の雑談。

2011年10月7日03時56分発行